



よこすか海洋シンポジウム2023 (第25回)

「もっと知りたい横須賀の海」

9月23日（日）講堂において、まちづくり文化ボランティアグループよこすか市民会議（YCC）が主催するシンポジウムを開催しました。

今年、海に挟まれた海洋都市横須賀で東の東京湾、西の相模湾の現状について高校生や経験豊富な漁師さんからお話を伺い、認識を新たにされるとともに、将来に向けての課題などを一緒に考えました。

第1部は「小田和湾の磯焼けの取り組み」と題して神奈川県立海洋科学高校の水産資源研究会の皆さんが、磯焼けの状況やその対策、カワハギの種苗生産の苦労話などについて紹介されました。

第2部では「東京湾でわかめ作ってます」と題して横須賀東部漁協の安浦港佳栄丸の栗山船長が、50年を超える東京湾のわかめ養殖の苦労話や消費者へ届けるための工夫などについて紹介されました。

第3部では発表者を交えたフリートークが行われました。参加者からは高校生の発表に対しては身近な問題を解りやすく説明していただき参考になったとご意見があり、経験豊富な漁師さんの身近な海での水産業への工夫などについて聞き入っておられました。また、発表した高校生からも経験豊富な漁船船長に対して専門的な質問もありました。

シンポジウムには約120名の方が参加され、地元横須賀の海や水産業について改めてお話を伺い身近な問題ととらえておられました。

最後には、三笠保存会が記念艦「三笠」について紹介を行いました。

